

熱海クラブキックオフ例会によせて

東日本区理事 駒田 勝彦



1963年チャーターし今期49年を迎えます伝統ある熱海クラブのプリテンに一言載せていただけますこと感謝申し上げます。

昨年期は、日本にとっても東日本区にとっても深刻な事態を経験しました。

この試練のなかに教訓と共に再生への絆を共有することが与えられています。今期理事主題は、「創造 多様性を生かしてイノベーション」といたしました。ここ1年世界は大きく動こうとしています。多くの国々でリーダーが変わろうとしています。このような流れにある昨今、私たちワイズメンも今一度自らを見直し皆様の豊かな創造力とそれを生かす心と、皆様のお持ちの多様性によって新たなイノベーションをなすべき元年ではないかと考えています。熱海クラブ半世紀の歩みは、良いものはますます大きくし、豊かな歩みを生み出し、変えるべきことは躊躇なく実行をする実績があり、たゆまない努力が今日ここにあると感じます。どうか良きものを伸ばし益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

今期私は重要課題として、東日本大震災復興支援をワイズメンとして続けてまいります。なお続いております被災地の方々に何かしら自分たちにできること、小さいことでも心を込めて行うことができるようにと思っています。その一つに2013年6月に東日本区第16回大会を花巻温泉で行います。皆様の参加が被災地の支援につながる、絆が生きるものと信じています。お一人でも多く参加し東北の方々に勇気をお与えいただきたいと希望します。その他理事方針につきましては、区報をご覧いただければ幸いです。

私は、微力非才の身ではございます、なにとぞ今後ともご指導ご支援をたまりますよう、お願い申し上げます。

初例会に寄せて

富士山部部长 漆畑 義彦



地域と密着・確かな行動

理事活動方針

- 1) 地域社会に密着し継続的に奉仕する。
- 2) 青少年育成と文化事業を支援する。
- 3) 奉仕・支援を通じて健全な交友関係を築く。

発足は1963年、49年になる老舗クラブ

の熱海クラブは素晴らしい。私は1988年以來ずっと熱海クラブの背中を見て活動してきた。私だけではない富士山部のクラブはすべてそうであるに違いない、大勢の会員を擁しその活動の力はどこにあるのだろうかと考えるとき、私の主題に行き着きます。熱海クラブ田中秀宝会長の主題の中に、過去に学び全力投球とあります。素晴らしい内容であり大いに見習うべきことで、地域社会に密着し奉仕することを実践しなければ、地域に認められませんし、長い歴史は刻めません、だから熱海クラブは素晴らしい富士山部の牽引車なのです。私たちは、自分達で出来ること、足元をみつめ地元根づいた行動、すなわち健全な交友関係を築くことでその輪を広げ、維持発展する運動であることを知っています。ワイズメンは自己研鑽することを求められています、日本一の熱海クラブを見習いながら大いに研鑽しましょう。



熱海ワイズメンズクラブ

世界最大の青少年団体YMCA

熱海YMCA理事長 竹内 敏朗



1844年産業革命のさなか、ロンドンに誕生した青少年教育団体YMCAは今では全世界125国にその組織を拡大、よりたくましい次代のリーダーとして青少年育成を一大目標として居る。

まもなく創立50周年の大きなイベントを迎える熱海ワイズメンズクラブは横浜クラブを親クラブとして、1963年9月に設立され、12月15日当時の日本YMCAのリーダーとして活躍された奈良伝、緒方、岩越、木本、池田等200名余の指導者・リーダーを完成したばかりの富士屋ホテルに迎え、チャーターメンバー55名当時としてはまさしく空前絶後、盛大なチャーターナイトを持つ事が出来た。

1955年より約35年間続いたJAPAN as No.1のたくましい経済発展のあと既に20年以上も政治、経済の混迷が続いている日本である。観光立市、特に市民各自の意識の変革、新しい施設の導入、めぐまれた大自然の再評価が求められるときである。熱海YMCAの存続も例外ではない。地域密着、レイパーソンのみで運営されるYMCAとし更なる飛躍、施設の改善が求められる。

会員を50名に増強、生涯の記憶に残る熱海ワイズメンズクラブ創立50周年の具体的なプログラム、新たな海外との人物交流をされてはどうでしょう。カナダBC州シュシワップレイク湖畔の友情の家も大自然の壮大、素晴らしさを体験し、併せて国立公園周遊の旅のベースとして活用下さい。BOYS! BE AMBISIOUS. A TIME FOR ACTION! 今こそ行動のときです。



合同記者会見

A副会長 札埜 慶一



2012年7月5日

熱海ワイズメンズクラブ・熱海グローリーワイズメンズクラブ

合同記者会見

於：熱海YMCAセンター

司会：広報・会報委員長 大川

開会挨拶：池田直文熱海ワイズ直前会長

熱海ワイズメンバー紹介：深澤書記

熱海グローリーワイズメンバー紹介：勝又隆吉直前会長

《熱海ワイズメンズクラブ会長 田中秀宝 ご挨拶》

「これから48代会長として熱海クラブの存在意義が問われる。継続事業を続けながら、新規事業として「心からありがとう」等も実施するので宜しくお願いいたします。」

《事業説明 A副会長 札埜慶一、B副会長 西部慎介》

プログラム・ドライバー、広報・会報、EMC、IBC・DBC、青少年事業、YMCA・ASF、CS・TOF、親睦、ドッジボール等各委員会の本年度事業の概要が説明された。本年度の重点事業として「心からありがとう」「年賀ハガキコンクール」「サマー、スノーキャンプ」ドッジボール大会「京都パレス、マニラ、クーロンクラブとのトライアングル」「会則の校正」等が上げられる。

閉会挨拶：加藤博熱海グローリークラブA副会長